

令和 2 年 12 月議会定例会

所 信 表 明

この度、多くの町民の皆さまをはじめ各方面からの温かいご支援、ご厚情を賜り、第6代箱根町長に就任いたしました。町長就任にあたりまして、12月定例会冒頭に所信表明のお時間をいただきましたこと、心から感謝申し上げます。

さて、昭和31年9月に5か町村の合併により誕生した箱根町が、昭和、平成そして令和と綿々と引き継がれ、来年で65年目となります。古より温泉地として知名度を有していた箱根は、観光・レジャーの普及とともに、全国有数の観光地、国際観光地の地位を築くことができました。

その間には、数多くの試練や困難に見舞われたと承知しておりますが、時代時代の先達が英知を結集し克服してきたからこそ、今の箱根があると認識しております。

本町の人口は1万1千人を割り込み、この半世紀で半減してしまいました。その間、他の自治体に先立って手厚い子育て支援策に取り組み、また、定住化支援策も実施するなど、様々な対策を講じてまいりましたが、残念ながら少子高齢化、町外への転出による人口減少の傾向は続いております。さらに今後も周期的な活発化も予想される大涌谷の火山活動、そして令和元年台風19号のように地球環境の変化がもたらす自然災害や新型コロナウイルス感染症といった世界規模の

災禍をも覚悟しなければなりません。

私達はこれらの困難を乗り越え、次の世代へ「箱根町」という襷をしっかりと引き継いでいく責任があります。町民の皆さんをはじめ人々の命を守ることが最優先であることは勿論のこと、観光産業を基幹とする箱根町にとっては観光経済活動の命も同時に守らなければ、町として成り立たなくなります。

現在、箱根町第6次総合計画に基づき、将来像であります「やすらぎとおもてなしのあふれる町ー箱根」の実現に向けて施策展開しているところですが、以上のような状況を踏まえ私がこれから特に力を入れて取り組む4点にわたる項目について、述べさせていただきます。

1 点目は新型コロナウイルス感染症対策についてであります。

我が国においてもまさに第3波が襲来していると言われ、残念ながら連日多くの感染者が出ている状況にあります。幸いなことに町内の感染者数は大きな変化はありませんが、全国各地からお客さまをお迎えする観光地であることから、引き続き感染拡大を抑えつつ日常生活を送る「新しい日常」の徹底に国や県と連携して取り組んでまいります。ワクチン

の開発が進み、接種に向けた体制整備の方針も示されるなど、光明が見えつつあると感じる情報も増えて来ているものの、既に長期にわたっていることから、影響が蓄積されている、場合によっては新たな課題が生じてきているものと推察します。

そこで、皆さんが生活、雇用、経営に関して困窮している実態を把握する窓口を設け、必要とされる支援策を検討し財政規律を守りながら迅速に適切な対策を講じます。

2点目は町民の暮らし第一のまちづくりです。

町で一番大切なのは、子どもから高齢者まで町民の皆さんが元気に明るく生活していること、これこそがいつまでも住み続けたい、そして移り住んでみたいまちづくりにつながるものと確信しております。

高齢化社会はますます加速していきます。私は永年にわたり郷土を支えていただいている高齢の方々が安心して暮らせる福祉・医療体制をそれぞれの地域の実情に応じた取組により充実させ、住民生活第一の体制を守ります。医療において町にできること、福祉・介護において民間事業者と連携してできることを総合的に考え、満足度が高まるように具体的な施策を検討し取り組んでまいります。

また、子育て世代や箱根で今働いている若い世代の方々が町内に住み、仕事を続けながら安心して子育てができるまちを目指します。具体的には小中学校給食費の一律無償化、放課後児童クラブの時間延長・休日対応・内容充実などに取り組みます。

人口減少に伴い持続可能な地域コミュニティの担い手の育成支援や多世代交流の場として様々な生涯学習プログラムを設けます。現在、展開している箱根教育を深化、推進し、確かな学力を身に付け、郷土を愛する心を育み、箱根町民であることに誇りを持ち、将来箱根で働きたいと思う子どもたちを増やして行くことで町の将来を担う人材の確保につなげていきたいと考えています。

さらに、日々の生活の安心・安全を守るため、その担い手である消防団の団員確保促進や詰所、装備の充実を図るとともに、土砂災害対策や火山防災対策に関する勉強会を開催するなど、防災、減災の取組を進めます。

3点目はブランド力アップです。

箱根に生まれ育ち、町職員として勤めてきた中で改めて観光あつての箱根であることを強く認識しました。ほぼ全域が国立公園に指定され、育まれている豊かな自然、火山の恵み

である温泉、史跡や文化、観光施設など、これらは箱根にとってかけがえのない財産であります。

世界中の富裕層に箱根を選んでいただけるような地域ブランド、高付加価値のブランドを維持、向上できれば事業経営もよくなり雇用に反映し町全体で所得、生活水準が上がると考えています。そのためには箱根の持つ財産を観光資源としてくまなく活用を図るだけではなく、観光に関する環境を余すことなく充実させることが必要であり、町として道路や上下水道を始めとしたインフラ整備、公衆トイレ、消防・救急体制などの受入れ環境をさらに充実させなければなりません。

他の観光地とは一線を画すオンリーワンの観光地へ進化するためには、行政の力だけでは不可能です。観光事業者の皆さんの協力が不可欠であります。箱根DMO、箱根温泉旅館ホテル協同組合を始めとした関連団体とは連携を密にして取り組みを進めてまいります。また、観光事業の活力、魅力向上のために観光関連従事者の待遇改善支援による雇用拡大を図るとともに従業員、経営者の所得向上を図ります。

4点目は持続可能な町政運営です。

安定した行政サービスを将来にわたって提供することの

できる、そして将来世代に負担を先送りしない持続可能な町政運営を心掛けていかなければなりません。

その観点から、老朽化が進む公共施設については、統合、再編といった手段も用いて適正な配置を目指し、民間活力の導入など新たな手法も取り入れながら、安心して利用できる環境の提供を目指します。

現在、中長期の財政見通しに基づき固定資産税の超過課税を実施しておりますが、中期よりも長期において財源不足は拡大することが見込まれていることから、行財政改革アクションプランの推進や既存事業の見直し、適正な職員配置による人的資源の有効活用を図るとともに、本町にとって効果的かつ実現可能な財源確保策を検討し、実現していきたいと考えております。

また、昨今の緊急事態において、財政面での備えの必要性、重要さを改めて痛感しております。非常時に効果的な施策を迅速に講ずるためには、普通交付税不交付団体である本町においては、特に日頃からの備えが重要であり、財政調整基金を用いることが最善の策となります。そのため、財政調整基金積み上げ目標額を 30 億円と設定し、着実に取り組んでまいります。

私の強みは長い行政経験ではありますが、町長としては新人です。過去に例を見ないような困難のさなか、町政のかじ取りを担うことになり、私に課せられた使命と責任の重さに、改めて身の引き締まる思いであります。町民の皆さんが町政に参加する機会を広げて、これまで以上に多種多様な意見に耳を傾け、役割分担をしながら行政運営にあたらなないといけないと考えております。過去の慣習にとらわれず、変えるべきものは大胆に変え、新たに取り組むべきものがあれば思い切ってチャレンジします。子どもから高齢者まで幅広い町民の幸せを第一に考え、住民生活を安定させ箱根のブランド力を底上げし、郷土を守りながら強く育てることを目標とします。

今回の選挙戦におきましては、投票率は63%を超えました。全力で戦い抜いた選挙活動を通じて、本当に多くの皆さまから叱咤激励をいただきました。皆さまからいただいたご意見や思いをしっかりと受け止め、職員と共有し、皆さまのために必要と判断した施策については果敢に取り組む、不撓不屈の精神で町政運営に邁進してまいる所存であります。

町民の皆さまのご理解とお力添えをいただきますとともに、議員の皆さまにおかれましても、一層のご支援、ご協力

を賜りますよう、心よりお願い申し上げます、就任にあたりましての私の所信表明とさせていただきます。